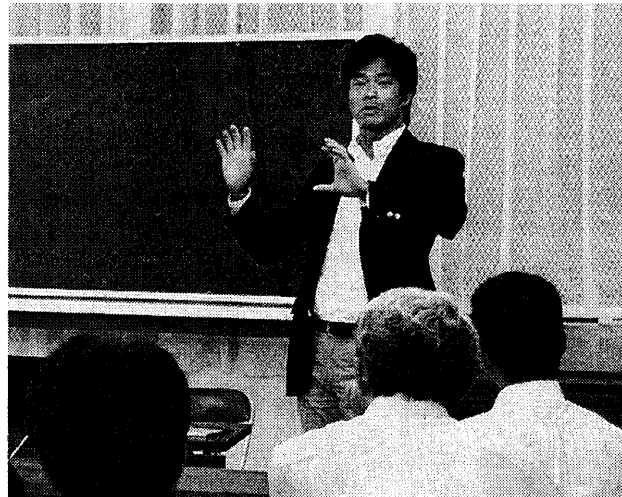


“吉野” 売る仕組みを

ヨシノ ハート NPO法人の設立報告

吉野材の利用を促進し、森林整備と地域活性化を目指す特定非営

利活動(NPO)法人「Heart(ヨシノハート)Yoshino Heart」の説明会が28日、



吉野の森林活性と産業振興を目指すNPO法人の設立を報告する服部進理事(28日、吉野町丹治の吉野町商工会)

吉野町丹治の吉野町商工会館で開かれ、理事の服部進さん(42)が法人設立を報告、地元若手林業家や自営業者ら約20人と産業振興へ意見交換した。

同NPO法人は、服部さんが社長を務めるマーケティング会社「ハートツリー」(本社東京都)と南都銀行、協賛企業、地元業者で進める「Yoshino Heartプロジェクト」の地元の受け皿となる。昨年10月に大淀町で発足説明会を開催して注目を浴び、今年7月に設立された。広告付き割りばしの「アドばし」やCDの紙ジャケットなどで事業は始まっている。服部さんは「吉野のブランド力は高く、届ける仕組みさえあれば必ず売れる。マーケティングや商品企画は任せてもらい、製造部門を皆さんにお願いしたい。木の文化を見直したい」と話した。

参加者からは「仕事は手いっぱい余力がない。過疎高齢化は進むが、どうすればいいか」と意見が出され、「需要が先にあるので心配し過ぎないで。必要な施設整備は考えないといけない」などと答えていた。

同NPO法人の事務局は吉野町商工会内に近日設置予定。会費は正会員で入会金2千円、年会費3千円など。現在、同プロジェクトの問い合わせはハートツリー、電話03(6893)5551。